

<p>教育学・心理学</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p>□ 感謝をはじめとする社会的感情の生起過程と機能</p> <p>□ 社会的感情の仕組みを考慮した学級運営</p>
<p>key word</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 感謝 ■ 社会的感情 ■ 思いやり行動 ■ コミュニケーション ■ 学級運営 	<p>人間は、他者との関わりの中で様々な感情を経験する。そして、その感情はその後の行動を大きく左右する。私は、様々な感情の中でも、サポートティブな人間関係を形成・維持・拡散するために重要とされる「感謝」に注目し、心理学の手法を用いて実証的な検討を行ってきた。</p> <p>また、感謝以外にも、他者との関わりの中で生じる社会的感情（共感、尊敬など）について、その仕組みの理解を目指す研究や、社会的感情の仕組みを考慮した学級運営の在り方等について研究を進めている。</p>
	
<p>蔵永 瞳 Hitomi Kuranaga</p>	<p>図 感謝を通して思いやり行動が拡散される仕組み(感謝研究における想定)</p> <p>他者によって思いやり行動がなされたとき、感謝が生じる。感謝を感じた人は、他者に対して思いやり行動をとりやすくなる。また、感謝を感じた人は、思いやり行動をしてくれた人に感謝の気持ちを表出する。感謝を表出された人は、他者に対して更に思いやり行動をとりやすくなる。それによって、更に思いやり行動の受け手(感謝を感じる人)が増える。</p>
<p>教育学部 准教授</p>	
<p>【プロフィール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門分野 <ul style="list-style-type: none"> ・社会心理学 ・教育心理学 ・感情心理学 ●略歴 <ul style="list-style-type: none"> ・2007年 岡山大学教育学部 卒業 ・2012年 広島大学大学院 教育学研究科 修了 (博士(心理学)) ・2012年 広島大学 特任助教 ・2013年 広島大学 助教 ・2014～2015年 就実短期大学 講師 ・2016年～2019年 滋賀大学教育学部 講師 ・2020年～ 滋賀大学教育学部 准教授 <p>【主な社会的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●所属学会、学会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・日本心理学会 ・日本教育心理学会 (2020年～ 編集委員) ・日本社会心理学会 ・日本感情心理学会 (2019年～ 理事) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学校心理士 (2016年～ 滋賀県学校心理士会 理事) 	<p><感謝や社会的感情、教育心理学に関わる活動歴(例)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文 感謝の構造—生起状況と感情体験の多様性を考慮して— 感情心理学研究 18, 111-119. ・論文 感謝の気持ちの育て方—大学生を対象とした回顧法による検討— 就実論叢 45, 91-98. ・論文 感謝された後に向社会的行動が起こるまでの心理過程 心理学研究, 89, 40-49. ・論文 尊敬の心理学的特徴に関する分析 感情心理学研究 21, 133-142. ・書籍 第2章 第2節 罪悪感・共感・感謝(モラルの心理学—理論・研究・道徳教育の実践 北大路書房) pp.47-62. ・書籍 第12章 第2節 他者との関係性で生じる感情(感情心理学ハンドブック 北大路書房) pp.248-252. ・論文 利他性を育む学級運営—共感と感謝に着目して— 日本学校心理士会年報, 13, 34-42. ・研修会講師 コロナ禍における学校での差別・偏見を考える:感情心理学・社会心理学の観点から(滋賀県学校心理士会 2020年度支部研修会) ・書籍 第1章 教育心理学の意義と課題 Q3 教育心理学の主要な研究方法を取り上げ、それぞれの利点と限界を述べなさい; 第3章 学習の基礎理論 Q19 グループで効果的な話し合いを行うための条件について述べなさい、Q20 ジグソー法を説明し、その教育的意義について述べなさい(新・教職課程演習 第5巻 教育心理学 共同出版) pp.15-18,63-70.
	<p>企業・自治体へのメッセージ</p> <p>・感謝をはじめとする社会的感情に関わる共同研究や、社会的感情の仕組みを考慮した教育方法の共同開発を希望します。</p>